臺灣日日新報
本日夕刊共二十四頁
臺灣日日新報社 人行發兌 佐々木八郎
臺北市榮町四丁目廿番地 電話 一四五番 所在地
臺灣日日新報社 臺北二番 振替口座 臺灣一〇八番 代金前納 一箇月金壹圓五拾錢
臺灣日日新報社 臺北二番 振替口座 臺灣一〇八番 代金前納 一箇月金壹圓五拾錢
臺灣日日新報社 臺北二番 振替口座 臺灣一〇八番 代金前納 一箇月金壹圓五拾錢
（第二種郵便物認可）（昭和十一年五月九日第三種郵便物認可）昭和十三年十二月二十八日（水曜日）臺灣日日新報 第一萬三千九百三十號 A （一）

生産力擴充計畫

企畫審議會で決定

社說

建設に必要な人的資源

人物の育成に遺憾はないか

一日閣議の協賛に、今や官民擧國一致の大行動の協賛に、今や官民擧國一致の大行動の協賛に、今や官民擧國一致の大行動

内地農信組の貯金
總額一億八千萬圓
貸出は減、預ケ金と證券が増
低金利も漸く浸潤

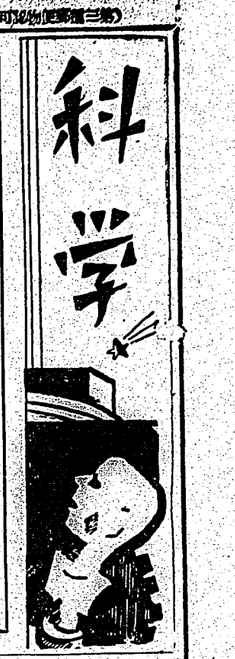
農林組合中央金庫の發表によれば本年六月末現在の全國農村信用組合九一組合の運轉資金總額は、二億二千七百廿二万九千円（一組合當二十万円）で、昨年末現在の貯金一億四千八百九十九万円（一組合當二十二万五千円）より約二千七百円の増加を示し、前年同期末に比しては百六十二万円の増加である。之を總額に於て見ると、前年同期に比し二万四千円の増加である。右の運轉資金の減少は、貯金の増加が顯著したことは云ふまでもない。

一組合當一万七千円で（昨年末と同額）、貯金總額は一億八千六百四万三千円（一組合當二十二万五千円）で、前年末より約五千円の減少を示してゐる。而も總體的に見れば、前年同期の七七・七%より若干増加を見たが、前年同期の五〇・九%より若干減少である。これに反して、低金利の（預ケ金、現金、有價證券）は、一組合當一万九千円の増加を示してゐるが、この内預ケ金は、總額七千二百七十九万円（一組合當九万二千円）で、昨年末より千四百万円（一組合當一万円）の増加を示し、總貯金の一五・三%を占め、前年同期の七・七%より若干増加である▲有價證券は、一組合當二千円（一組合當一千円）の増加となつた。而して、低金利の傾向は大八・八%が顯著に減少してゐる。又拂込資出資金と準備積立金の自給率は、總額二千七百九十一万円（一組合當四万七千円）で、運轉資金の一五・八%に當り、前年同期より一組合當二千円の増加に過ぎないかくて設立された運轉資金の運用狀態は

（第一面より續く）

同期）前年同期より約五千円の減少を示してゐる。而も總體的に見れば、前年同期の七七・七%より若干増加を見たが、前年同期の五〇・九%より若干減少である。これに反して、低金利（預ケ金、現金、有價證券）は、一組合當一万九千円の増加を示してゐるが、この内預ケ金は、總額七千二百七十九万円（一組合當九万二千円）で、昨年末より千四百万円（一組合當一万円）の増加を示し、總貯金の一五・三%を占め、前年同期の七・七%より若干増加である▲有價證券は、一組合當二千円の減少である。これに反して、低金利（預ケ金、現金、有價證券）は、一組合當一万九千円の増加を示してゐるが、この内預ケ金は、總額七千二百七十九万円（一組合當九万二千円）で、昨年末より千四百万円（一組合當一万円）の増加を示し、總貯金の一五・三%を占め、前年同期の七

科學



寒さと餓ゑを……
生物は如何に防ぐか

また百獣は寒かですが、北の国にはもう冬籠の支度に取掛つて来ました。それらの獣どもが穴居でやつて来ました。それらの獣どもが穴居でやつて来ました。それらの獣どもが穴居でやつ

麗人荘

（禁上演）

竹田敏彦作

伊勢良夫畫

（164）

父（六）

「大原署が家へなくても、召喚を命令すれば、自然、警部はそこへ参らねばならないか……」

警部は鋭い眼で、章子を見据えると

「とにかく娘子の居所を申告に言ひたまい……」

「いくら仰言いましたところで、知らないことは申上げやうがございません……」

章子は「嘘」を呑んで答へた。

「嘘吐きだ……しかし、手紙は來てゐるだらう……」

「嘘りません……」

章子も必死で言ひ張つた。あの手紙を見られたら、疑ひは益々、深まるに違ひない。

「さう思つて來てゐるないね」

「居りません……」

「よろしい……そんな嘘を言ふのなら、君も連れはれるな……」

「妾しがございません……」

警部は手帖閉つた様子で、章子を見つめてゐたが、

「やや、こちらも已むを得ない。

「さあ、こちへ來て……」

命令するやうに言つた。

「どちらへまゐるのでございます？……」

章子がきつとなつて訊ねると、警部が鋭く

「怪しい者を入れる処があるんだ」

「えッ……わ、わたしを、留置へ？……」

「さあ來るんだ……」

章子は、口惜げに、警部の腕を押しのけたが、すぐ

「よろしうございます、どこへでも參りまさ……」

「さあ、こちへ來て……」

巡査が、その手を掴んで引立てた。

「私を……私に、何の科があつて……」

「さあ、來るんだ……」

夜目にも鮮やかな、章子の姿を警部に睨めながら、ポケットから鍵を出して、一番端にある扉の鍵を外した。

ギーそ、不氣味な音を立てて、扉が寂しく開いた。

「さあ、入るんだ……」

から當つて、扉の内のスイッチをひねつた。ぼつと薄暗い電燈の光が、高い窓と煉瓦色の壁と、そして、冷たい板敷の床を浮き上らせた。

章子は、見るなりぞつとして、水を浴びたやうな戰慄を感じた

「さあ、早く……」

ドンと、巡査に背を押されて、よろめくやうに入つた瞬間——ドアは、ガチンと閉ざされて、すぐ外で鍵のかかる音がした。

章子は、餘りの口惜しさと憤りさと、羞恥とで、板敷の床に泣き崩れてしまつた。

最近に於ける 履門事情と其繁榮策

（一）

竹藤峰治

「門」は臺灣に屬し、民國一二年に條約が布かれたのであるが、一八四二年、例の南京條約により、福州と共に開港場に指定された所である。

從て港としては、僅に九十七年の歴史しか持つてゐないのであるが今日では福建省第一の門戸と

して偉大な發展を遂げ、世界貿易に重要なる地位を占むると共に、其の將來に非常な期待がかけられて居る。で、便宜上

一、門の位置及び戸口

二、占領後に於ける一般情勢

三、門の貿易

四、今後に於ける經濟的動向

の四つに分けて述べて見やう。

位置及び戸口

門は福建省の南端、臺灣の北方に當り、北緯二十三度、東經百十七度の處に在り、門島の位置である。門市は其の西南端に位し、內地、臺灣、琉球、臺灣、水道を隔てて廈門島の對岸二十五哩に臨んでゐる。

門市並に鼓浪嶼島の調査當局の調査によると目下（昭二）三千五月、人口十八万二千三百四十三人となつて居る。尚ほ鼓浪嶼島には在留日本人（內台人）二万を超え、ゆく〳〵八、九千人を下らない狀態であつた。勿論日本在留民の大多數は本島人であつて、內地人は五百人內外を有して居たのである。が、此の內地人の多數は、事變の勃發と共に、全部引揚げてゐる。

占領後に於ける一般情勢

事變前の人口に就いては、尚ほ、はつきりしたことは判らないが、二〇万と稱し、或は十三万と稱されて居るが、民國二十五年九月現在に於ける調査當局の調査數字に依ると、門市は其の西南端に位し、內地、臺灣、琉球、臺灣、水道を隔てて廈鼓島の對岸二十五哩に臨んでゐる。

門市並に鼓浪嶼島の

馬公要港部正面に菊花御紋章を奉掲
きのふ嚴かに擧式

【馬公二十七日發】馬公要港部司令部正面樓上に此の程菊花御紋章を奉掲する事を差許されたので先般來準備中であつたが二十七日午前十時から川島澎湖神社神職に依つて奉掲式は原司令官、田中參謀長以下各幕僚、諸官衙長參列の下に莊嚴厳大に行はれた、燦たる菊花御紋章は要港部表玄關樓上高く輝き、南海鎮守の威容は一段と高揚された

下淡水溪を挟んで一大決戰を展開
一大決戰を展開
高雄學生、青訓大演習終る

【高雄通信】高雄州下中等學校、青年團大演習第二日は夜來の降續をおついで敵行され、早朝出發下淡水溪を挟む兩岸の陣地を占領して西軍の攻撃を撃退し、更に東軍は下淡水溪を渡河攻撃を敢行して行動を起し一部は大崗山附近より進出すれば東軍又午前七時有力なる機械化部隊等の援に馬鞍山麓、反劍潭方面より、九時一部渡河を開始し、國軍の中洲にて一大激戰の後之を撃退白兵戰を行つた、自轉車を前十時より後援部隊として續行され、最後の決戰は午後二時半から市街地に於て展開され、二時半頃に至り東軍は全部隊を擧げて攻撃に轉じ、西軍は遂に潰走し、午後四時半頃演習終了の喇叭を聞いた、尚ほ今回の演習に參加した學生團は總數一萬餘名で、演習中は何れも元氣旺盛で、從來ややもすればおろそかにされ勝ちな兩軍連絡を緊密に實施し、新兵器の活躍振りを遺憾なく發揮した

初の孔子祭
市尹を委員長にしきのふ盛大に擧行

【台南局發】台南市に移轉後第一回の孔子祭典は二十七日午前十時から市内孔子廟に於て盛大に擧行された、當日は市尹小松原知事、同内務部長、若林參與官、校長、岡田市役所助役、藏前所長、藏前法院長、原口市佐伯警察部長、川村知事官房主事、各學校長、各官公衙代表者、一般參拜者多數參列、午前十時開式、先づ孔子の神位に對し三獻の禮を行ひ、次で一同孔子の遺德を偲び、最後に市尹の祭文朗讀があつて午前十一時半閉式した

大湖青年團
新竹州大湖郡下青年團査閲は去る二十四日午後一時大湖公學校庭に於て開催、定刻新竹州知事代理森田內務部長、熊倉大湖郡守、各列席官民代表者及び一般觀覽者多數參集、午後一時半から市民代表者の觀覽裡に、郡下中堀靑年團長の指揮に依り、各團隊は整然と分列行進を行つた、引續き郡下十團各團隊に對する教練査閲が行はれ、各團隊は何れも訓練の成果を遺憾なく發揮した、査閲後各團隊は校庭内に整列して總員宮城遙拜を行ひ、次で森田知事代理の訓示があつて午後四時半頃解散した

諸經費を節約し皇軍慰問金
庄長も率先示範

【台南電話】台南州新豐郡庄役場では從來年末年始の諸行事は凡て國民精神總動員の趣旨に基き實行する事になり經費の節約をなし愛國貯金をなし又皇軍慰問金として一月二十日以上數名を擧げて金十円を醵金し一致して行はれた大演習も滯りなく終了した

澎湖神社の昇格祭
來年二月嚴修

【馬公二十七日發】澎湖神社の昇格祭は來年二月中に行はれる豫定である

御火焚祭
一月八日に執行

【台南電話】台南市北門町の三社では例年の如く一月八日に御火焚祭を執行する事になつた

白衣の勇士歸還
赫々たる武勳をたて

【台南局發】白衣の勇士を迎へた本田出身の戰線勇士の氏名は左の通り

【鹽水】小畑萬吉、原田公夫、荒竹清彌、大木武森二八、新中清藏二、高橋弘、田中馬久良國藏二、松澤榮男、岡田榮松十郎、松田榮、倉木卓、西原清、前田助行、松永七郎、西澤秀夫、西本勘二郎、川原一夫、藤田竹松、玻璃正治【楠梓】高木益雄、山田武雄【下淡水】林信夫、山本【旗山】楊金福、陳連陸、杜影、葉月良、陳登峨、陳來連、陳清得、朱鍋旺、【鳳山】陳文吉、曾子、許慶陸、楊淵明、黃天德、曾子、許慶陸、楊淵明、黃天德、曾子、許慶陸、楊淵明、黃天德

讀書

ノーベル文學賞作品
チボー家の人々
第一巻「灰色のノート」公刊

ロジエ・マルタン・デュ・ガールの「チボー家の人々」は一九二〇年、作者四十の年に筆を起し、巻を重ねること十巻、一九三六年五十六歳の時に完成を告げたもので「人生」を無上の願大さ、その複雑性に於て表現しようとした、佛蘭西文壇では稀にみる堅大な力作である。十数年に亘る根強い仕事ぶりと夥しい分量とを以て高く評価されたこの二篇に一九三七年度のノーベル賞が與へられたことは、至當ではあるが、また果実ノーベル賞目當の「盛裏き」を見る感でもある。

○

作者は、かの歐洲大戦の勃發を経へて、これに向つて徐々に、しかも執拗に、社會的に歴史的に、それに直接関係ある人々の若きジェネレーションとを描き出して、ここに現代社會史の極めて大かかりな壁面を完成したのである。

傳統と、叛逆と、戰爭と、その殺もそれに關から生れ出たにかに見える少年が、その過ぎしい実盛の發端ゆえに何に惱み、何にその途を選んだか。この問題を中軸として展開された第一巻「灰色のノート」に於て作者は先づフランス社會に於ける傳統的觀念を象徴せるカトリック的教養とプロテスタン的教養との對立の中から二人の少年を採り來り、少年期にあつて「無二の親友」(ジャック・ティボー校)同志を誘して、うちに矛盾の種を包蔵ひそめた現代少年心理の極めて巧妙な描寫をこころみてゐる。

この点「灰色のノート」と「戰死」の巻を終える人々だけでなく、苦惱の青春時代の青年、青少年の前途、特に前途すべからざる文学作品である。

○

山内義雄氏は、人も知る歐洲に於ける佛文学界の第一人者、「チボー家の人々」全十巻を訳了人としては、山内氏を除いて他に適者ない三つても過言ではあるまい訳文の流麗、実に一驚嘆をおこはせてゐる。殊に親切な解説、便利な目次類、讀者には何よりである。かのアンドレ・ジイドの小説「贋金つくり」と相對するものであるが、少くともジイドの作よりも興味の点では遙上に位するものであらう。訳文の流麗について多くを説明されむことを切望してやまない。(四六判倍製函入二六六頁、一・〇〇、東京岩波書店發行小川町三八店水酸)

石川滿三氏の「結婚の生態」
△警戒し長蘇▽

これは單なる小説ではない。著者自身の結婚生活を解剖台上に載せて、自らメスを揮つた偽りなき記録である。石氏は(正しい良心と謂りない良心をもつて)この記録を書かうと思ふこと苦しく、また書き終つてからも、これを發表すべきか否かに惱んだ。

しかし、この記録は、石氏自身の結婚生活を解剖台上に載せて、自らメスを揮つた偽りなき記録である。石氏は(正しい良心と謂りない良心をもつて)この記録を書かうと思ふこと苦しく、また書き終つてからも、これを發表すべきか否かに惱んだ。

く輝に譽榮
く聽に家の甲勳殊

我が渡洋爆撃の育て親
得猪治郎、今村武夫の兩勇士

【東京二十七日發本社特電】海軍に於ける我が渡洋爆撃の育て親、海軍航空本部長得猪治郎中將、同第一部長今村武夫少將の兩氏は我が渡洋爆撃の今日あるを作出した、その苦心と努力は實に容易ならざるものがあつた、兩氏は今日まで一切これを語らず、ひたすら陰の力となつて渡洋爆撃の完成に努力して來たのである、今回の論功行賞に際し、兩氏の功績は初めて發表されたのである

感激して居るでせう〝地下〟でさぞかし
得猪中佐未亡人語る

【東京二十七日發本社特電】得猪中佐の遺族は世田谷區下北澤一丁目一番地に住む未亡人ヨウ子さん（三〇）と長男昭男君（六つ）の二人暮しだ、ヨウ子未亡人は朝から晩まで涙に暮れてゐる、今日は朝から近親の人々が集まつて來るし、新聞社の人達が引きも切らず訪ねて來るので、ヨウ子さんは一日中應接に忙しかつた、ヨウ子さんは語る

「主人は海軍の爲めに盡すことが出來て本望だつたと思ひます、今日の發表で主人の功績が初めて判つたのですから、地下でさぞかし感激して居るでせう、主人は生前から非常に仕事が好きで、若い部下があつたならば精一杯に心を掛けてやつて呉れと申して居ました、その遺志を繼いで私も主人の名を汚さぬ樣に努めて參りたいと思つて居ります、主人が海軍に入つたのは大正六年の十二月一日でした、それから二十一年間、主人は殆んど家庭を顧みる暇もなく勤務に精勵して居りました、主人は非常に機械が好きで若い部下があつたならば精一杯に心を掛けてやつて呉れと申して居ました、その遺志を繼いで私も主人の名を汚さぬ樣に努めて參りたいと思つて居ります、主人が海軍に入つたのは大正六年の十二月一日でした、それから二十一年間、主人は殆んど家庭を顧みる暇もなく勤務に精勵して居りました、主人は非常に機械が好きで

有難い思召しに心から感泣
今村大尉の遺族たち

【東京二十七日發本社特電】今村大尉の實家淺井家では今日の發表を聽くと感激の餘り、直ぐ仏壇の前に坐つて合掌、「有難い事です、有難い事です」と繰返すばかりで暫くは言葉も出なかつた、やがて涙を拭つて「主人は生前から海軍の爲めに盡すことが出來て本望だつたと思ひます、今日の發表で主人の功績が初めて判つたのですから、地下でさぞかし感激して居るでせう、主人が海軍に入つたのは大正六年の十二月一日でした、それから二十一年間、主人は殆んど家庭を顧みる暇もなく勤務に精勵して居りました、主人は非常に機械が好きで若い部下があつたならば精一杯に心を掛けてやつて呉れと申して居ました、その遺志を繼いで私も主人の名を汚さぬ樣に努めて參りたいと思つて居ります、主人が海軍に入つたのは大正六年の十二月一日でした、それから二十一年間、主人は殆んど家庭を顧みる暇もなく勤務に精勵して居りました、主人は非常に機械が好きで

光州攻略戰の華
趙君の武勳永久に燦

【東京二十七日發同盟】二十六日朝鮮軍司令部發表＝光州攻略戰に參加した第×師團×聯隊の趙義卿少尉（二五）は同聯隊の先頭に立つて敵陣に突入し、敵の重機關銃陣地を占領、敵兵を殲滅したが、自らも敵彈に倒れ、二十六日午前十時十五分七光州陸軍病院で遂に壯烈な戰死を遂げた、趙君は平南出身で、昨年十月現役將校として入營、今年三月少尉に任官、同聯隊に配屬されたもので、入營以來僅か一年半の間に、その武勳は永久に燦として輝くであらう

嘉悦女子學園の餅つき
東京の

【新京電話】新京の嘉悦女子學園では父兄を學園に招き同校生徒八千餘名の餅つきをやつたが、これは女生徒の餅つき＝中央農務局史

禹門口攻略戰で
山崎部隊長戰死
遂に敵の堅陣を奪取

【發信二十七日發本社特電】禹門口攻略戰に參加せる部隊は、二十七日午前十時半禹門口東方側の高地を占領、次いで同日午後二時半禹門口の敵陣地を完全に占領した、この戰鬪に於て山崎部隊長は敵彈に倒れ、部隊は悲壯な決意の下に敵陣地の奪取に努めたが、敵は頑強に抵抗し、我が軍の攻撃は容易に進まず、山崎部隊長は部隊の先頭に立つて敵陣に突入、敵の重機關銃陣地を占領、敵兵を殲滅したが、自らも敵彈に倒れ、二十七日午前十時十五分七光州陸軍病院で遂に壯烈な戰死を遂げた、山崎部隊長は福岡縣出身で、昨年十月現役將校として入營、今年三月少尉に任官、同聯隊に配屬されたもので、入營以來僅か一年半の間に、その武勳は永久に燦として輝くであらう

市バスの新春ダイヤ
宮詣で線には增車運轉

那發下に新春を迎へるに當つて宮詣で線には增車運轉を行ふ、市當局では一月一日から三日迄の間、左の通り運轉をすることとなつた

一號線　港北岸―川端町間
間隔六分―十分
二號線　港北岸―東門町間
間隔六分―十二分
五號線　港北岸―宮下町間
間隔八分―十五分
八號線　万歳橋―宮下町間
間隔八分―十五分
十號線　西門町―宮下町間
間隔六分―十二分

七十五名雪崩の下敷
富山縣下に白魔の慘事

【富山二十七日發同盟】富山縣下一帶は降り續く大雪に閉ざされてゐるが、二十七日午前二時二十分頃下新川郡宇奈月町栗寺から十二里餘り雪崩來襲、目下救援隊が出動中であつたが、この程その全貌が判明した、雪崩は栗寺から十二里餘り雪崩來襲、目下救援隊が出動中であつたが、この程その全貌が判明した、雪崩は栗寺から十二里餘り雪崩來襲、目下救援隊が出動中であつたが、この程その全貌が判明した

華僑の産地九江に
一大反蔣の運動
蔣軍閥養成の惡夢一擲

【九江にて濱中本社特派員】九江は佛山鎭より南方に十里、西北河畔に臨んだ河港の一つで贛、三水間の一つのものにすぎへ小艦を浮かべて交通の便に供してゐる

この附近は水田は所々にしてゐるだけで敷在してゐるだけで他は全部禿山、見渡す限り赤の色である、途中東江下流に跨る水橋の町を過ぎるがここは兵火に燒かれて全くの廢墟で湖だけがある

一軒もなく國軍防衛、打倒日本のポスターも支那軍自身の火によつて誰をうらむべきかの感慨なきである、水路江一度九江への風中に立つ

九江の町に入るには何處も町の區別に入るのか一寸不思議になる程綺麗と云ふ

地帶を過ぎねばならぬがきけば九江の町はしつかりとした區劃がされてなく家並の續く限りを言へば南北に一里半、東西は沙口、上西方迄五里の長さがあると云ふ、戰前の人口十五、六万、今は中四、五万のものが殘つてゐるがこの地は有名な棉產地として遠く南洋へ、南北アメリカへ、ぴは日本へと出廻さに行くものが大部分を占め米作は少しもなく殘つたものは主として養蠶をやつてゐたとある、同町近への沼道の桑畑がさきにとうなづけるのであるが、そのために市民の生活は殺富の差激しく餓民は湖川の魚をとつて ひさく殘命 のなりはひしか

道路をひた走れば兩岸は桑畑一面のものにさへ小艦を浮かべて交通の便に供してゐる

この附近は水田は所々にしてゐるだけで他は全部禿山、見渡す限り赤の色である、途中東江下流に跨る水橋の町を過ぎるがここは兵火に燒かれて全くの廢墟で湖だけがある

一軒もなく國軍防衛、打倒日本のポスターも支那軍自身の火によつて誰をうらむべきかの感慨なきである、水路江一度九江への風中に立つ

九江の町に入るには何處も町の區別に入るのか一寸不思議になる程綺麗と云ふ

地帶を過ぎねばならぬがきけば九江の町はしつかりとした區劃がされてなく家並の續く限りを言へば南北に一里半、東西は沙口、上西方迄五里の長さがあると云ふ、戰前の人口十五、六万、今は中四、五万のものが殘つてゐるがこの地は有名な棉產地として遠く南洋へ、南北アメリカへ、ぴは日本へと出廻さに行くものが大部分を占め米作は少しもなく殘つたものは主として養蠶をやつてゐたとある、同町近への沼道の桑畑がさきにとうなづけるのであるが、そのために市民の生活は餓富の差激しく餓民は湖川の魚をとつて ひさく殘命 のなりはひしか

街に〝露營の歌〟氾濫
佛山鎭は日毎に甦る

【佛山鎭にて濱中本社特派員】佛山の町は防衛を擔任した部隊の軍紀嚴正なるにより、治安維持會の活動にも有力者を加へて益々その內容を强固にせんとしつつあり、警察一作の態勢と相俟つて、土民も次第に安堵の色濃くなつた、日軍駐屯所の設置による日本軍隊に接近するの惡夢一擲併せて約四千の大軍隊の入城第一師團に殺り强力な敵地を擔當第四口守備の万全を期してゐたもので敵は此の地區に殘り必死の抵抗をうたが我が山崎部隊は敢然として東北方の敵陣を猛襲して佛堂より掃蕩な攻撃を加へた、彼我兩軍より打ち出す銃砲は實に河を挟んで山壁に響しつつあり壯烈なる攻防戰を展開したがこの戰鬪に於て敵は二千の死體を殘して潰走、我が軍は三水に次ぐ重勝の地、我が軍當局の取締りによつて物價も他より一段と安く居留民も落十二月迄つづけられてゐる、かつて二千の苦力 軍夫 ありこの地には二千の苦力 軍夫 「トリコモナス・ホミニス」の生物學的性質に關する研究に從事し

出來 なかつたのである、金持ちは敵によつて海外へ逃れ殘存復歸してゐるものは敵民が大部分で米作のなかつたため物資に乏しく米で來る給與で買り捌き後等を餓死線上より救ひあげたのである、最近一部後方攪亂のため殘存は結成されてゐるとある、さあらむ九江は三水に次ぐ重勝の地、我が軍當局の取締りによつて物價も他より一段と安く居留民も落十二月迄つづけられてゐる、かつて二千の苦力 軍夫 ありこの地には二千の苦力 軍夫 「トリコモナス・ホミニス」の生物學的性質に關する研究に從事し

民衆訓練 による自衛團も組織されてゐたが今は漸く消滅時折り近郊には敵機を見つた銃聲は聞えて來るが敵機たる皇軍將兵の駐留に住民は些の不安を感ずる事もない

いづれは金持ち連も復歸して關文化に於ける一勢力としての復活の大展望加勝ち歸による事であらう今回の事變により手痛く敵害を蒙つたものは勿論敵を養つた商權それ自體ではなかつたか、現に治安維持會の會長を勤める紳商等は敵側をはじめ主要各地に支店を有した關係上關係方面に運動だけでも二十七、八万円の

損害 をうけたのだそうである、平和鄉九江は目、一日と活氣を呈して來る

二勇士の遺族に直筆の色紙
吉岡陸軍大臣から贈る

【基隆電話】吉岡陸軍大臣は勇戰奮闘、壯烈な戰死を遂げた基隆出身、故中尉工藤重雄、故少尉花田光一の兩遺族に對し二十七日左の色紙を送り遺族を慰めた

露船引揚げ事件の
江連に無罪の判決

【東京二十七日發同盟】露國軍用船アンナローザン號引揚げを繞る諜の江連力一郎に係る詐欺橫領に關し二十七日東京地方裁判所は無罪の判決を言渡した

本紙社說に共鳴
中辻氏の美擧

台北市本町株式會社鮮進商行社長中辻彩次氏は、二十七日付本紙朝刊社說「台湾教育令の改正」を讀み、同氏の教育に對する熱意に感激し、大いに共鳴し台北州廳に對し、大いに共鳴し台北州廳に對し、大いに共鳴し台北州廳に對

再認識を要する
蹴る、走るの二原則
（蹴）（球）（界）の（回）顧

Q…野球は蹴球競技の變形か、即ち蹴り一本の練習に過ぎまくられて居ては蹴球の基礎は出來ないが、これは蹴球の變形から野球が發生したもので現代野球に於ける所謂ベースボールの如きは蹴球の變形とは見られない、ベースボールの基礎は走にあつた、即ち如何に速く走つて次の塁を占めるかにあつた、從つて走者の走塁に對する守備の方法が發達し、走者の走塁を阻止する爲に投手と捕手の間に種々の信號が取交はされ、走者の走塁を阻止する爲に内野手の守備位置が變化し、走者の走塁を阻止する爲に捕手の守備位置が變化し、走者の走塁を阻止する爲に内野手の守備位置が變化し、走者の走塁を阻止する爲に外野手の守備位置が變化し、走者の走塁を阻止する爲に投手の投球法

（第二版）　（明治卅一年五月九日第三種郵便物認可）　昭和十三年十二月二十八日（水曜日）　臺灣日日新報　第一方三九七號

臺灣昌新報 夕刊

十二月二十七日
夕刊定価一部二銭

菊王宗 揚界之王

陸の荒鷲堂々數十機
大擧して重慶を空襲
政戰兩略の中樞覆滅

【漢口二十六日發同盟】中支方面航空部隊發表――昭和航空部隊作戰における航空戰略の目的は重慶政府の抗戰意志を破碎するに決し二十六日敵都、方折柳の飛行場施設を利用しつゝ各隊不斷これが攻撃を實施せり。(一)二十六日午前、服部、今川、北村、吉野各隊はその全機總力を擧げ重慶市を中心とする敵の軍事政治經濟の中樞に對し大小多數の爆彈を雨下し、午後一時一路重慶市上空に進入、

あふれる熱誠に 陸軍當局感激す

獻金五千七百二十餘萬圓

【東京二十七日發同盟】今秋愛國機獻納運動に一年有半、わが國不動の大方針と相俟つて國民の赤誠も變りなく陸軍省に寄せられた昨後國民の赤誠は國防獻金二千四十八万四千四百八十万四千五百円七十七銭、陸軍省分二千三百六十万四千七十六銭、海軍省分一千六百八十万円、計五千七百二十餘萬圓に達し、尚ほ今後も續々寄せられる模様である

【新竹電話】新竹市出身の愛國少女團は廿七日午前十時半市役所に集合、市長、市會議員、市役所吏員、各學校長、各團體代表者等の見送りを受けて出發、午後一時半臺北着、直ちに臺北驛前より二臺の自動車に分乘、臺北市内を一巡して、午後二時半臺北陸軍病院に到着、慰問品を贈呈、病院長より謝辭あり、一同病院内を參觀、各病室を慰問、午後三時半病院を辭し、直ちに臺北驛前より歸途に就いた

臺北在住の華僑 慰問金四百餘圓を提出

小林總督は二十九日午前十時半由臨時軍事費特別會計を以て陸軍病院を慰問、中村陸軍次官、大橋局長を首め陸軍病院長以下數名の出迎を受け、病院内を參觀、各病室を慰問し、傷病將兵を慰問した

【新竹電話】新竹市出身愛國少女團一行は廿七日午前十時半市役所に集合、市長、市會議員、市役所吏員、各學校長、各團體代表者等の見送りを受けて出發、午後一時半臺北着、直ちに臺北驛前より二臺の自動車に分乘、臺北市内を一巡して、午後二時半臺北陸軍病院に到着、慰問品を贈呈、病院長より謝辭あり、一同病院内を參觀、各病室を慰問し、傷病將兵を慰問した

小林總督 陸軍病院を慰問

小林總督は二十七日午前十時半由臨時軍事費特別會計を以て陸軍病院を慰問、中村陸軍次官、大橋局長を首め陸軍病院長以下數名の出迎を受け、病院内を參觀、各病室を慰問し、傷病將兵を慰問した

逃げ出す奥地民から 支那軍隊が稅金を取立つ

コロンスで密貿易者が語る

【廈門本社支局發】二十四日夜紀者はコロンス某所に於いて密貿易者を發見、之れと會談の事を得、種々なる裏面の消息を聞いたが、彼は左の如く語つた

私は福州第五場附近の者ですが、當地の人民が困つてゐるので、商人は當局に金を贈つて荷物の積出しを大目に見て貰ひ、船に積んでコロンスに運んで來るのです、商人は當局に金を贈つても牛や豚、野菜等を積載を許して船に積んでコロンスに運んで來るのです、商人は當局に金を贈つて荷物の積出しを大目に見て貰ひ、船に積んでコロンスに運んで來るのです、船頭は又牛一頭に十五円、豚は三円五十錢

基隆市で御下賜品の傳達式

【基隆電話】基隆郵便所では二十七日午後一時から殉職者の遺族に對し、白川三連一等兵の遺族に對し御下賜の御下賜品傳達式を行つた

夜中に 支那軍隊が稅金を取立つ

コロンスで密貿易者が語る

【廈門本社支局發】二十四日夜紀者はコロンス某所に於いて密貿易者を發見、之れと會談の事を得、種々なる裏面の消息を聞いたが、彼は左の如く語つた

私は福州第五場附近の者ですが、當地の人民が困つてゐるので、商人は當局に金を贈つても牛や豚、野菜等を積載を許して船に積んでコロンスに運んで來るのです、商人は當局に金を贈つて荷物の積出しを大目に見て貰ひ、船に積んでコロンスに運んで來るのです、船頭は又牛一頭に十五円、豚は三円五十錢

担ち上げた嘘 蔣が聯盟に報告書

【廈門二十六日發同盟】連盟調査團の支那側證人の一人たる前外交部長の顧維鈞は二十六日午前十時半より約二時間に亘り連盟調査團に對し證言を行つたが、その内容は從來の支那側の主張を繰返したに過ぎず、特に新味なきものであつた

廈門日本居留民會の 議員選擧を終る

澤氏等十三氏が當選

【廈門本社支局發】明廿廈門全市に亘つて行はれた廈門日本居留民會議員選擧は二十四日午後四時選擧會場に於いて開票の結果、當選者は左の如くである

一〇一票 澤（全國新聞社員）
一〇〇票 原（朝鮮銀行支店長）
九一票 庄司（三井洋行支店長）
八五票 宮脇（三菱支店長）
八四票 藤森（三井支店長）
八〇票 吉澤（朝日新聞社員）
七一票 三井（三井洋行支店長）
六三票 中部（三井洋行支店長）
五七票 池本（三菱支店長）
五三票 吉田（三菱支店長）
五〇票 飯田中子郎（三井洋行支店長）
四四票 今田（三井洋行支店長）
四一票 木村（三井洋行支店長）

以上十三氏が當選した、因に有權者は三三一名、投票一五一、棄權率は二割七分八厘であつた

厦門で新年の 名刺交換會

【廈門本社支局發】廈門政務つてゐるが、而してこれら傀儡將兵等はいづれも將介石の抗戰傀儡の名を連ねてゐるが、一時流行の事實を列舉して事實を作成し、國際聯盟に提訴したことが明かになつた、即ちこの報告の内容は次の如くである

臺北州下の蕃地 盛んに降雹

氣溫は甚しく低下

【臺北二十六日發同盟】連續寒波の影響は蕃地にも及び、二十五日午前六時現在の觀測に據ると、臺北州下各蕃地は殆ど全部氷點下に低下し、二十七

家庭と婦人

はき違へてゐる 戦時下の廃物利用

眞に回収を急ぐ廃品と急がぬものとを區別せよ

金子しげり

廃物利用の叫ばれ始まり一般家庭でもこれに習ひ従来下の國情に即応なために努めて廃品を入手へ有効利用せ、廃物利用を行ふ様になつてゐますが、しかし、廃物に必要な資源を含有する物を利用といふことに重点を置いてゐる為めや、また従来廃物の処分に困つてゐた物品の中から貴重な資源を発見したことに因つて廃物利用の声が高くなつたのです

□

この様に考へますと、廃物の活用にしても、古ボロにしても、時局柄なるべく多くの物資を節約して、今迄捨てゐた物品でも利用出来る物は利用しようといふ事になつたのです

□

この様に考へますと、廃物の活用にしても、古ボロにしても、時局柄なるべく多くの物資を節約して、今迄捨てゐた物品でも利用出来る物は利用しようといふ事になつたのです

□

ところで、今日廃物利用の声が叫んで一般の家庭にそれの声援が廃物利用されてゐるのですが、ここに、この廃物利用をよく理解していただかないと大きな間違ひが生じてくるのであります。物の生命を出来るだけ延ばすことに、平時戦時の別なく大切なことに相違ありません。問題にあつては、即ちに迷つた物資の利用をよく理解してみれば物によつて国家を益す。再生して重要な資源となり得る為に廃棄されて既る場合が生じてくるのです

この点をよく理解してゐないと廃物利用の声前から盛んな声の門において廃物利用の一方として廃物される物資利用がなんだか役得をつとめることにならないと思はないのです

□

例をあげると、メリンスのタオルはボロの廃物利用ですが、タオルになつてはたちまち需要と共に高値に売られるのは国民皆知の通りです。それより毛ボロとして早く国の手に渡し再生されるほうが正しいのです。政府はこの様な行為を奨励するために国内貿易手形をにして個人の物資を行つてゐることを知らねばならないでせう

このことは古綿及の統制についてもいへます。これ、用ひ古されて廃ボロとなり前にゆき出して乾かし、他のボロと共に国の手に渡すことは、これは統制となつて統制品の原料ともなればセルロイドを作るに必要な材料ともなるのです。このセルロイドは花柄と

なり衣料へと転用され、外国からの援助を得ないでくるのですから、ボロの統一つでもその方向へ振向けられる国民の力となるのです

□

この様に廃物利用は、統制においてその回収を急がない物資であつたり、また国防の為力を発揮しない、いつどこでも誰にでもやれる様な物の方面でなくてはならず、国際に関係した品が多くまで家庭内でなければならないのです

□

私達の心がけ一つで、とり扱ひ方が変つて来ます。とり扱ひ方が変つて来ると、ボロの統一ルート、商の統一ルート、ボロの統一ルートと、ボロの統一ルートと、ボロの統一ルートと

開花三世相

(63)

杓松・梢風作
中一彌畫

脫出（一）

お町は、先刻から度肝を抜かれてゐた。けれども御用が急んでゐるので、ツと玄関に入つたのは「相撲親分」の台詞。

「はつ」と驚いたたけやうに、縁の上に坐り込み、尻を浮ましてゐるとも知らぬ戸の外の女房は相変らずマヂマヂクヂヤと話合つてゐる。

「時に、親分の用といふことは聞いては居りますが、一体何処にゐるんでせう」

「それが妾もそれは教へてはくれませんがなんでもお客のお話には、土蔵造りの家からつて、其の中にお部屋があるといふ事でした」

「それでは、外からは分らないね。相撲親分さんも、どの道筋からぬ算盤商、男が好くと先方の仕事にも何にも御ふといふもの、そこへいくとお互ひに無い袖は振せから知れませんねえ、オホホホ」

「ほんに御尤さんの仰しやる通り色が黒いの、際が低過ぎるのと、顔を褒まぬことに致しませう、オホホホ」

お町は、思ひ掛けない時に相撲親分の名前を聞いて驚が早鐘のやうに鳴り出した。しかも親分が大勢へ乗り込まれて、監禁されてゐるとは何んたる意外の出来事だらう。

縛られてゐるとはいへ、同じ化の大勢のうちに親分がゐるかと思へば、悲しさが胸に込上げて来た。

つて来た。兄が逃いばかりに、親分の一命を受けてあんなにつてしまつたが、お町は今でも親分の事を思ひ掛けてゐる。先年の事件の日のことは、お町の脳から決して消えない悲しい思ひ出である。

新橋駅から降されてさへ悲しかつたお町の胸には親方の親分の面影がチラ付いてゐる。それが彼女を泣くさせたのだ。

お町は思てもおつてもゐられない気持になつた。

（何とかして親分に一目逢ひたい。そして用事のことだけ、ありガを述べ申してしまひたい）

つてクワ〳〵と鼾をかいて寝込んでしまつた。

お町はそつと起き上り、外の様子を窺ひ、音のせぬやうに戸を明けて、勝手口から出ようとした

海外映畫短信

△国際の陰謀「国を共に去りぬ」を含む六本乃至六本の作品を来年度に製作するセルズニック・インターナショナル・プロはメトロへ合併うと迄く傳へられてゐたが実元ユナイトの新野長ムーレイ・シ

にになります。

×　×　×

これが従来の偽かり感の噂を為さとしての統率法の上から非常に思いとして居る様人もありますが、それは親方の特色としてかつて面白いと思ひます。彼のへ感似し、あとうの方でませて歌ひます。うんに聞こえていろいろの指導のところに相の愛うべきところがあります。

×　×　×

警保局長「民の敵」（製作一民）の試（製作一民）の試

×　×　×

南国さの陽盛りのよい窓の上にあて、この世の幸福をただ掴り占めてゐるといふ何ともいへない表情をさ、語ります。その晩りは聞きなにによつてさまざまに聞かれます。警察では「一撃上任り候」と聞え、阿部の人には「激撃つつ七つつし」と聞える、九州のある地方では「年間待ち来た計破はせう」としきりに子供がまねしてゐます。その昔調に満々たる野心のあるところがいかなる時代にも人に愛好せられる所以でせう

×　×　×

この鳥は保護鳥でありませんから昔日でも狩猟に手に入るし、野にいでても射手に捕獲されるので何の心づかひもありません。殊にこれから春にかけて恋愛時期です。店によつては三十銭、五十銭で売つてゐます。しかし、こんな高い鳥は野で捕へられて狭い籠に入れて独りぼつちで飼はれて、非常に健康を害してゐるやうから、まつその健康を恢復するために、駆きび等を十分に与へ、数日間風呂場をかぶせて置いて可愛がつてやりまそ、そして十分健康を恢

冬から春へかけての趣味の鳥の話

復した時分に、面倒でたけれなるべくすりを与へるやうにさせます。鶯を飼へておいても、鶯同様の鳴音にならぬ内は、すりを与へるやうにさせます。

×　×　×

すりを与へる時分は三分師をやること（国ちやか十に過する魚二人によつては五分師をやる人もありますがそれは鳥の体質に合ひません、元来鶯は機動物を主食とするものですから、決して動物性はを与に聖する体質をもつてゐません。動物質を深山やれば鶯に腸胃多く不良になつて死んでしまふ、鶯自はひとり自分の鳴きごゑを練つてすべく眞似をするやうに

東京名人競演會
來春、臺灣で公演

臺北は三日から五日まで

西京名人競演会では来春台湾に於て公演を開く事となり一月三日より百貨店北市公会堂に於て開演するの予定で、新竹、台中、台南、高雄、西都各都市を巡演する筈で二行は左年来来宮するその顔触れは次の通り

浪曲、雷門一輔、浪曲浪峡、波多野栄一と夫、一輔、浪曲浪峡、波多野栄一と夫、一輔、浪曲浪峡、波多野栄一と夫、